

Part 5

35歳からの美人道拡大版・プロが厳しくチェックしました

美容医療の「ベストクリニック&ドクター」

「美容医療は上手に利用できれば、これほど頼もしい味方はない」

自らが美容医療を取り入れている美容ジャーナリストはそう語る。

けれど、間違った捉え方や思い込みをしている人、またリスクや値段を考慮して戻込みしてしまう人が多いのも確か。

そこで、美容医療の実情をよく知るジャーナリストに、読者の率直な疑問をぶつけてみた。

撮影/池田 保 取材・文/矢沢美香 [STRIPE]

Q1

美容医療って、何するところか イマイチよくわからない

「例えば、シミを作らないように予防するのは化粧品でできること。でも、できてしまったシミを化粧品で消すのは難しい。美容医療はその悩みを軽くするひとつの手段」(近藤さん)「効かないと思いつつ化粧品を使い続けるより、皮膚科で塗り薬を処方してもらおうほうが効果があることも。結果を待つ間に他の悩みが進行する年代だから、見切ることも必要。うまく取り入れていけば悩みも減るし、なにより肌に対する知識も増える」(海野さん)「エステとの違いは効果の違いでも、1回の施術でOKというほど甘くもないしお金もかかる。普段のお手入れをきちんとしていないと元に戻るのも早いし、あくまで医療だからリスクを軽く考えようとして返しを食らう。自分の言葉できちんと希望を言えない人や自己責任が取れない人はむしろやらないほうがいい」(山崎さん)

Q2

クリニックは どう選べばいい?

「ひとくちに美容医療といっても、美容皮膚科と美容形成外科があり、美容皮膚科は肌のハリや質をよくするためのもの。美容形成外科は外科手術のイメージが強いですが今はメスを使わない方法が主流です。クリニックによって得意分野が違うので、その医師の専門を調べておくのも手。また、治療方針は医師が決めるものだから、こちらから治療法をオーダーするのは無意味。例えば「このシミを取るにはどんな方法がありますか?」と聞くのが正しい受診のしかた。その際、目立たなくすればいいのか、完全に消したいのか、お金はどのくらいかけるのか、痛いのは

回答してくれたのは
“美容医療の達人”

美容ジャーナリスト

近藤須雅子 さん

海野由利子 さん

山崎多賀子 さん

がまんできるのかなど、自分の希望を言いつつ治療してもらおうとが大切」(山崎さん)「勢いで行っても満足な結果は得られない。初診料はだいたい3~50円なので、ホームページなどで調べて2~3軒絞って初診で相談して比べてみるというのと思う。話しやすい先生であるというのはずごく重要だし、質問にはつきり答えられないとか、アクレシブな施術をすすめられてついていけないとか、その医師に自分の肌を託せるかどうかは、実際に会ってみないとわからないこと。ただし、こちらも質問できるよさに事前に下調べしておくことが大前提」(海野さん)

Special
ISSUE
Best
Cosmetics

